

## 令和元年度 第1回小動物臨床部会講習会の開催

小動物臨床部会の今年度第1回目の講習会が令和元年7月28日(日)、新潟東映ホテルにて開催され、36名の参加がありました。

鈴木正芳副部会長の司会進行で、長谷川眞部会長、続いて宮川保会長理事の挨拶のあと講演に入りました。

講師は、鹿児島大学 共同獣医学部 臨床獣医学講座教授の大和 修先生で、「伴侶動物の遺伝子疾患について～神経変性性疾患および現在国内で流行している疾患を中心に～」という内容でご講演をいただきました。普段私たちがよく遭遇する疾患である変性性脊髄症 (DM) を皮切りに、発症のメカニズムや臨床診断と遺伝子検査の重要性を理論立てて詳しくご解説いただき、その他ラフォラ病、トイプードルの成犬型運動失調、ライソゾーム蓄積症、サンドホフ病など、知っていなければ見逃されがちな疾患の解説をいただきました。また後半では、泌尿器や生殖器、遺伝性眼疾患などの解説があり、細かい部分まで遺伝子の異常が解明されてきていることに、あらためて遺伝子分野での学術的な進歩を感じました。

日頃診察する中で、「あれ?もしかして」と思った場合メールにてご相談にも乗って頂けるとのことで、拝聴させていただいた我々一同、大変心強く感じさせる講習会でした。



講演される大和 修 先生



受講の様子